

## 情報公開

「有痛性腫瘍病変への放射線治療における調査用紙を用いた有効性評価」のデータを用いた二次解析

### 研究の概要と目的：

痛みのある腫瘍への放射線治療により、痛みをやわらげる効果が期待できます。しかし、どのような患者様に放射線治療が効きやすいかについて、今のところまだ十分には分かっていません。患者様が受けられた放射線治療について研究を行い、痛みの強さ、痛みが生活に及ぼす影響を調べます。この研究結果をもとに、将来、どのような患者様に放射線治療が適しているかを判断できるようになることを目的とします。

### 研究の期間：

熊本大学大学院生命科学研究部等人を対象とする生命科学・医学系研究臨床研究部門倫理委員会で研究が認められてから、2038年12月31日までが研究期間です。

### 本研究の対象：

本研究の対象者は、過去に「有痛性腫瘍病変への放射線治療における調査用紙を用いた有効性評価」に参加された患者様です。

### 意義：

どのような患者様で痛みが改善されるか、生活の質の改善が得られるか等を調べることで、より患者様に合わせた症状緩和治療の開発につながることを期待されます。

### 方法：

過去の「有痛性腫瘍病変への放射線治療における調査用紙を用いた有効性評価」のデータを用い、さらに必要に応じてカルテより患者様の情報、検査データ、治療内容等の情報を取得します。データを解析し、放射線治療の痛みを和らげる効果に関する研究を行います。

### 試料・情報の保管及び廃棄の方法について：

臨床情報・検査画像などの個人情報情報は電子データとして、熊本大学病院 放射線治療室・放射線治療科医局にて保管します。データは鍵のかかる研究室の中のパスワードで管理されたコンピューターで管理します。データの匿名化を行います。

### 研究機関と研究責任者：

研究機関名は熊本大学病院、研究責任者の氏名は大屋夏生です。

### 本研究への参加と個人情報の保護：

本研究への参加を拒否されても何ら不利益は生じません。本研究に参加することで特別な謝礼などの資金援助はありません。また、患者様に費用の負担もありません。

研究に使用する患者様の情報は熊本大学病院 放射線治療科で厳重に保管し、患者様のプライバシーの保護、人権保護には最善を尽くします。学会や論文発表は個人情報を匿名化して行われますので、個人情報が漏えいすることはありません。

「有痛性腫瘍病変への放射線治療における調査用紙を用いた有効性評価」に参加された患者様で、臨床情報を研究対象として使用することに同意できない方は、放射線治療科（下記）にご連絡ください。患者様、あるいはその代理人が希望される場合には、いつでも研究への参加を拒否することができ、それにより不利益を被ることは一切ありません。

## 利益相反について

本研究は、診療によって得られたデータを使用するため研究費は生じません。本研究の利害関係の公正性については、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の承認を得ており、今後も、当該研究経過を熊本大学生命科学研究部長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

## 問い合わせなどの連絡先：

熊本大学大学院生命科学研究部 担当：齊藤哲雄

平日（9：00～17：00） 096-373-5755（放射線治療科外来）